

ノロウイルス 感染症について

千葉メディカルセンター小児科 たかはし よしこ 高橋 喜子 医師

こども急病電話相談

受診するべきかどうか迷ったら

#8000

毎日夜7:00～翌朝6:00

※相談は無料ですが、通話料はご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP電話・光電話・銚子市からは
☎043 (242) 9939

Q1 ノロウイルスに感染すると どんな症状になりますか？

潜伏期間は24～48時間です。発熱、腹痛、嘔吐、下痢、全身倦怠感、筋肉痛、頭痛などがみられます。とくに、嘔吐の頻度が高い傾向があります。わが国では11～1月に多く、かつては冬季嘔吐症とよばれたことがあります。

乳幼児から成人まで幅広く感染します。

Q2 ノロウイルスに感染した場合の 対処法・治療法はどのようなものですか？

根本的な治療はなく、発熱や嘔吐などの症状に対して行われる対症療法になります。

一般的には経口補水液や、食事療法をおこなうことでほとんどの方が軽快します。脱水が強い場合には、点滴を行うこともあります。多くは数日の経過で自然軽快しますが、乳幼児や高齢者では重症化することがあります。

Q3 感染しないようにする 予防法はありますか？

残念ながら、現時点で使用できるワクチンはありません。

便や吐物で感染しますので、十分な手洗い(石鹸をつけて少なくとも20秒以上擦り、流水でよく流します)、汚染された物や場所の十分な消毒が必要です。消毒は使い捨てのマスクと手袋を使用し、まず布や紙で汚染された場所を覆います。次亜塩素酸ソーダ(家庭用のハイターなど)を浸したペーパータオルなどで消毒し、ビニール袋などに使用した紙や布、手袋・マスクも一緒に入れて廃棄します。エタノールでは完全にはウイルスを不活化することはできないと言われています。

Q4 ノロウイルスにかかった場合 登園・登校の目安がありますか？

嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれれば登園・登校が可能です。ただし、ウイルスは便中に3週間以上排出されることがありますので、しばらくの間、排便後やオムツ交換時の手洗いが必要です。

